

廣告費用に就て

日本の如く廣告費を要するは世界で稀

研究を要する主要問題

日本人が廣告を見るのは通常廣告に刺撃せられて見るの、注意が自動的でなく他動的である。されば奇抜あるもの若くは非常に大きいもの等にあらざれば其効力が甚た乏しい。

日本の廣告の如く非常に大きいのは世界で稀である。歐羅巴人は新聞や雑誌の廣告を視ること普通の記事を見るのと殆んど同一の注意を以てする廣告に刺撃せられて視るのではなく、自ら注意して之を視る即ち自動的である。従つて大なる廣告を要するから新聞や雑誌に一頁大的廣告を貰は見られない。故に商品の廣告も低廉に容易に出来るわけである。

然るに日本では一商品の廣告に年額十三萬圓も支出するものがある。今年度は十五萬圓位要するであらふ。又二十日位の賣出廣告に二三萬圓を費すものさへある。而して廣告料は尙ほ益々騰貴して止まない。此の情態あれば貢の少數ある書物の如きは、廣告に要する費用の不引合より書肆其出版を拒絶すること稀である。されば廣告費用の問題は商に國家に於けること重大あるのみならず、文明進歩の上よりも決して軽視することの出来ない大問題である。

如何に善良なる商品を製するも廣告費用乏しくては賣り擴めることが出来ない、粗悪なる商品も盛んに廣告すれば賣れるといふ様では、需要者の不利益れより大なるものはあるまい。今日の現状では吾々は粗悪な商品を而も高價に賣りつけられつゝある即ち商品を買ふのではなくて廣告を買ふやうるものである、何と國家經濟上憂ふべき次第ではあいか。

然るに此の重大問題が世人の注意を惹かず、且つ經濟學者の研究する所とあらるのは不思議に堪へないとある。然らば此の不利を如何にして除かんか、教育の方に依つて我國人の廣告に対する注意を勵かしむること歐洲人のそれの如く自動的あらしむるやう養成するの外はない。云々（農務會社前田不二三氏講演大要を讀者）

人口増加と農業

伊藤柳藏氏講演大要

日本現在に於ける土地の生産力は一ヶ年十五億圓乃至十六億圓である、

此内主要ある生産物は米穀類の十億圓、蠶絲業の一億六千萬圓、園藝品の一億五千萬圓、茶の一千万五百萬圓、疊表類の一千萬圓等である米穀類の内米が七億五千萬圓、麥類が一億五千萬圓、大豆が四千萬圓、粟が一千六百萬圓といふことがあつてゐる。

日本本土の人口は現在に於て五千萬人である其増加率はどうであるかといふに十ヶ年間に一割三分二厘六毛であるこの割合に増加して行くと今より七十年の後には本土の人口七千萬もあり百年後には一億である勘定である處で今日一人が一ヶ年間に米を食ふ分量は九斗五升といふことにもあつてゐる今後文明の進歩と共に個人の活動力増して来る一人一ヶ年一石を要する位のことは覺悟せねばならぬさうあると七十年後には七千萬石の米があくまであらぬことにある若し日本の米が今日より餘計に出来ないものとするとそこに非常な不足額を生ずるこの不足額を補ふには農事改良其他の方法により現今一反歩收穫一石七斗の平均額を二石に平均したあらば

それだけで二千萬石の增收を見ることが出来る。此外朝鮮臺灣等新領土の開發によつて補充していくことが必要である。

日本内地の面積は十四萬七千方里であるが山が多く耕地が少なくて耕地面積は現在の處百分の十二にしか過ぎない。

現在の耕地以外生産的に利用する道はいかでいふに決してさうでない實際はまだ／＼開墾に適する山林原野等が多いのである現に既往の成績に鑑みるも二十年以前より今日迄の間に於て田が十六萬町歩畠が七十萬町歩増加し來てゐるのである從つて今後といへども山林原野等の開墾餘地が十分にあるので寧ろ朝鮮溝洲などより開拓の場所は澤山あるであらうと思ふ耕地面積は決して其の乏しきを憂ふるに及ばぬ。

唯憂ふべきは動もする農村衰頼の兆の見えんとすることがある。

農村の盛衰は延いては軍國の盛衰に大なる影響を及ぼすされは土地に對して仕事をしてゐる者は愛郷心が強く從つて愛國心が盛んで且つ自然の間に身體を鍛錬せられてゐるから軍人として最も適するのである日本は古來農本を以て國を立てゝ來て居るだけ外國に比較すると農業を營む者が多く今日でも農家は全戸數の六割を占めてゐるといふ有様である併しもがら文明日に進歩して商工業がだん／＼發達して來るにつれて農民は誰誘ふとも都會に出で從つて農村の衰退を招くことにある我國なども都會の人口増加率が追々に増して田舎の增加率が段々減つてゆく傾向があるとは一つは農村に健全な娛樂が無いからでもあらう。であるから今日の傾向を救ふとするには先づ農村に娛樂を興へて農民をして自家の業に趣味を持たしめ且つ自作農を獎勵することが最も必要であると信するかくて農民の情態を改良することは刻下の急務である。

日本文明の將來

文學博士 井上哲次郎君

日本の文明は維新前迄は三つの原素を以て成立して居た一は日本固有の精神、二は支那の文明、三は印度の文明である維新以後は西洋の文明が非常の勢を以て日本に這入つて來た。

東洋の文明と西洋の文明とを比較すると非常なる差違がある西洋の文明は主に二つの思想よ

り成立つてゐる一はギリシャの思想、二はユダヤの思想で哲學科學等は前者より生じ宗教神學は後者より生じた。そうして前者は積極的で後者は消極的であるが追々は此の積極的のギリシャ思想が勢力を占めてこれが盛んに日本へも這入つて來た。

西洋の文明には日本の文明に無いものがある第一は自然科學である東洋にも其の萌芽はいくらかあつたけれども一向科學的發達を遂げて居なかつた。

第二は權利思想である權利思想は日本にも支那にもあかつたこれはギリシャ哲學書から生じたものであるアリストテレスは自然的權利と法律的權利を分ち説いてゐる法律的權利の思想は支那にもいくらかあつたが自然的の方は一向あかつた此の思想はギリシャよりローマに發展しさうして全歐洲に延びたのである。

第三は人格の觀念の明確であることであるこれは西洋の文明と共に日本へも輸入されて來たユダヤの宗教には權利の思想はあいけれども人格尊重の觀念が基礎となつてゐる第四は自由平等の觀念である東洋の文明は階級的觀念に依つて道德を立てゝある墨子の兼愛說佛教の平等宗などはあるが何れも箇人の自由といふことには言及して居らぬ日本文明の是等

今後の處は西洋から這入つて來る思想を適度に消化するより外には古い外來思想は到底防ぎ得べきものでないたゞ日本民族の精神さへ旺盛であればどんな思想が入つて來ても決して恐るゝに足らぬ

日本人は在來本能的であつたが今後はこれに加ふるに智識的でなくしてはいけぬさうして此智識を以て外來の思想を嚴重に審列せねばならぬのである今日ではこういふ傾向が幾分著はれつゝあるやうだ日本文明の將來は「かくあるであらう」といふのみで「かくせんけれども」いふ考を以て行かねばならぬこれが日本文明の將來を確立せしむべき大原則であるかくして一層複雜ある高等ある文明を作るべきである（講演大要）

日本人と支那人と西洋人との喧嘩振り

民族性は一舉手一投足の上にも現はれるものであるが殊に喧嘩の態度を比較する誠に面白い日本人はヤッコ掛け聲勇ましく拳を揮り上げて叩き付ける支那人はエツキ云て身を斜に構へ腰を引き一方の拳を突き出し他方は肱を屈め、腋を取り突いて出又は足を揚げて蹴る西洋人はウチ云つて諸肱を後は張つて拳を股に交直に突いてかゝる日本人の側から見てゐる如何も威勢よく叩いて痛いが傷つけられない支那人の側で見ては誠にふざまであるが利口が烈しい西洋人は此の折衷した處である即ち日本人の見景は支那人の買益西洋人は兩方いくらかづ、ある之を他の方面から實例を擧げる香港の商店では始めは英人が支那人を使用又は貨物を卸して賣らして居つた然るに支那人は勞銀及び生活費の安い爲め卸値より高いが英人の質値より安く賣る其れで競争を勝ち今日では香港商店の七八部は支那人の手に歸して居る併し英人が店を居らなければ賣れない、それで英人は支那人を使用又は貨物を卸して賣らして居つた然るに支那人は勞銀及び生活費の安い爲め卸値より高いが英人の質値より安く賣る又ハワイに移住する日本人が七八年も経つて服装も立派にあり馬車でも驅つて白人を伍し堂々と交際をするが別に時計があるわけでもない、然るに支那人は五六年経つて渡航當時のベロムになつた古服を着て歩いて居るが何十萬圓を貯蓄して居る、さ三者の競争が今度如何なる結果を生むかは、これから見物である（福本日南）

◎全國の生産額

本邦内地に於ける一ヶ年の農産額は一ヶ年約十三億万圓にして之れに副業的の收入を合すれば十五億万圓更に朝鮮、臺灣、樺太等の新領土の農産額を五億万圓として合するときは實に一ヶ年に生ずる農産收入は二十億万圓の巨額に達すべし次に工業の產額は一ヶ年約四億萬圓近くにして之に朝鮮臺灣、樺太を合するときは其の生産額は五億萬圓近くあるべく糖業の生産額は内地の約三億萬圓の生産額は約一億萬圓あり以上の各種生産額を合するときは其總額實に三十億五千萬圓の巨額に達すべし

本邦目下の全產額は前述の如くあるも尙ほ農業、工業、糖業、林業、水産等に於て增加發達し得る見込充分あるを以て之に向つて鋭意努力するあらは我が生産額は近き将来に於て四十五六億萬圓に達し得る難きにあらざるが如しといふ而して生産の發達は一方に於て政府當局の保護獎勵宜しきを得ると否とに關する大なるも國民各自が何事によらず政府の保護政策を謁望するが如き依頼心を抛ち大に自覺して生産事業に奮闘努力すること最も肝要なり

報月所議會業商宮都字

日十三月五年四十四治明

『四』

第九拾七號

日十三月五年四十四治明

『四』

本邦内地に於ける一ヶ年の農産額は一ヶ年約十三億万圓にして之れに副業的の收入を合すれば十五億万圓更に朝鮮、臺灣、樺太等の新領土の農産額を五億万圓として合するときは實に一ヶ年に生ずる農産收入は二十億万圓の巨額に達すべし次に工業の產額は一ヶ年約四億萬圓近くにして之に朝鮮臺灣、樺太を合するときは其の生産額は五億萬圓近くあるべく糖業の生産額は内地の約三億萬圓の生産額は約一億萬圓あり以上の各種生産額を合するときは其總額實に三十億五千萬圓の巨額に達すべし

本邦目下の全產額は前述の如くあるも尙ほ農業、工業、糖業、林業、水産等に於て增加發達し得る見込充分あるを以て之に向つて鋭意努力するあらは我が生産額は近き将来に於て四十五六億萬圓に達し得る難きにあらざるが如しといふ而して生産の發達は一方に於て政府當局の保護獎勵宜しきを得ると否とに關する大なるも國民各自が何事によらず政府の保護政策を謁望するが如き依頼心を抛ち大に自覺して生産事業に奮闘努力すること最も肝要なり

◎日本工業の現状

日本の工業は一、勞銀の低廉二、石炭の富裕三、大市場の隣接比較的近きにあるの三大特色あり然れども其反面に於て鋼鐵器械及原料品中に輸入を待たざるべからざるもの多く勞銀も漸く騰貴の趨勢を呈し且つ工場法も愈々公布せられたるを以て工場經營も追々變化するあるべし今内地に於ける工場の大勢を見るに全國に於て十人以上の職工を使用せる工場數は一萬二千餘就業職工七十四萬

人にして此内政府直轄の工場四十五其原動力は最近に於て十四萬一千馬力職工男八萬九千三百十一人女六千七百四十六人、民間の工場數は一萬一千三百九十九、男工三十四萬八千人、女工四十萬人あり之を各事業別にするときは左表の如し

工場種別	工場數	男	女	合計
鐵鐵工場	六、二九八	四三、二〇〇	三〇、〇〇〇	三七三、二〇〇
機械工場	八二八	五一、七〇〇	二、三〇〇	五四、〇〇〇
化學工場	一、三九七	四二、三〇〇	二三、四〇〇	六五、〇〇〇
飲食工場	一、一二八	二六、七〇〇	一七、二〇〇	四三、九〇〇
印刷工場	三四八	一四、三〇〇	二、六〇〇	一六、九〇〇
製紙工場	六七	一、三〇〇	一、五〇〇	二、八〇〇
電氣工場	三〇	一、三〇〇	一	一、三〇〇
瓦斯工場	八	五〇〇		五〇〇
金屬精鍛	二三四	四一、〇〇〇	八、二〇〇	四九、二〇〇
雜工場	九五二	二六、二〇〇	一五、八〇〇	四二、一〇〇
合計	二、三〇九	二四、八〇〇	四〇、九〇〇	六四九、六〇〇

世界に於ける窒素肥料の重もある源は南米のチリソルトビーラーと稱する硝酸ボタシウム硝酸曹達の混合物あるがサ、ウイリアム、クーリス等といふ人は多年其源を調査して終に千八百八十九年に之が餘科盡きたる事實を發表せり窒素肥料盡き之に代るものあしらずれば世界に於ける農業の收穫非常に減するに至るは勿論るが其後電氣作用にて空氣中の窒素を採取し肥料用硝酸壠類を製造すること發明せられて最近にノートルキト及びヒロルに於て水力電氣を利用して製造せらるゝ窒素肥料の年額約十萬噸に及ぶといふ又空氣中の窒素を採取し新窒素肥料チアンアミドカルシウムを製造することも米國、諸威、瑞西、獨逸等にて盛んに行はれ近々中には年二十萬噸のチアンアミドカルシウムを製造するの豫定ありとかく新利用法普及せらるればたゞへ南米のチリソルトビーラーが全く取り盡さるに至るも世界の農業は窒素肥料の不足を告ぐるが如きことあかるべし

右の異議に對する裁決の結果多少差異を生すべきも修正地價決定當時の調査に係る地價修正額左の如し

市部	(▲印減)
賃貸價格	市街宅地内 郡村宅地外
修正地價	三、九六、九九 二、二〇、三八、二四、六四、八三
原地價	三、九六、九九 四、一〇一、三〇、一九、九九
修正地租	七、六二、二四 五、二五五、七、一七、三七〇
原地租	六、五九、八六 三七、四五
比較增減租	四九、三六 七、八四〇 五二〇、七六
郡部	(▲印減)
賃貸價格	市街宅地内 郡村宅地外
修正地價	三、九六、九九 二、二〇、三八、二四、六四、八三
原地價	三、九六、九九 四、一〇一、三〇、一九、九九
修正地租	七、六二、二四 五、二五五、七、一七、三七〇
原地租	六、五九、八六 三七、四五
比較增減租	四九、三六 七、八四〇 五二〇、七六
市部	(▲印減)
賃貸價格	市街宅地内 郡村宅地外
修正地價	三、九六、九九 二、二〇、三八、二四、六四、八三
原地價	三、九六、九九 四、一〇一、三〇、一九、九九
修正地租	七、六二、二四 五、二五五、七、一七、三七〇
原地租	六、五九、八六 三七、四五
比較增減租	四九、三六 七、八四〇 五二〇、七六

宅地價修正事業は或一部を除くの外總て賃貸價格調査會の決議に從ひ既に修正地價確定し土地臺帳市町村の帳簿とも整理を完了せり該事業は全國に亘る重大の事柄ありしも概して平穩に經過し今や市町村の帳簿とも整理を完了せり該事業は全國に亘る重大の事柄ありしも概して平穩に經過し今やの修正地價は全部確定に至る筈の誤議に對する裁決の結果多少差異を生すべきも修正地價決定當時の調査に係る地價修正額左の如し

◎宅地價修正確定

調査會の決議に從ひ既に修正地價確定し土地臺帳市町村の帳簿とも整理を完了せり該事業は全國に亘る重大の事柄ありしも概して平穩に經過し今やの修正地價は全部確定に至る筈の誤議に對する裁決の結果多少差異を生すべきも修正地價決定當時の調査に係る地價修正額左の如し

右の異議に對する裁決の結果多少差異を生すべきも修正地價決定當時の調査に係る地價修正額左の如し

◎書記長會議概要

會議所が任務を遂行するには此統計あるものが概して其根抵を成すものあるに從來一般當業者が生産額并に販賣高を秘するより正確ある材料を得難き困難あり是れ各商業會議所共に苦痛を感じつゝ其他の問題に對しては左の如き決議を見たり

（決議）聯絡ヲ圖ル必要アリ。其方法ハ明治四十一年ノ會議ニ於テ決議セル事項ノ外更ニ左ノ各項ヲ追加施行スルヲ適當ト認ム

甲、商品陳列館ニシテ其館經營ニ關シ參與セシムル事務員ヲ追加施行スルヲ適當ト認ム

乙、地方商工會其他ノ團體ニシテ其組織ハ變更等ニ關シ地方長官ハ豫メ

（其組織又ハ附近ノ商業會議所ニ於テ諮詢セラレタキ事務所定款ノ規定譽ホ同一ナルヲ以テ改メテ規程ヲ一定スルノ要ナシト決議ス

（二）商業會議所ハ各團體ノ聯合會ヲ組織セシト
（三）商標分類表ヲ作成セラレントラ特許局ニ望ムコトヲ（佐賀）

（四）會計事務ニ關スル規程ヲ一定スルノ要ナシト決議ス（松江下関及九州各會議所）

（五）實業獎勵金ノ最効ナル使用方法如何（佐賀）

（六）報告ニ用フル調査統計表等ノ形式ヲ一定スルコト（佐賀）

（七）統計ノ單位ヲ一定スルコト（佐賀）

（八）會議所提出問題題（佐賀）

（九）明治四十一年ノ會議ニ於テ協定シタル各所合目的ヲ達スルニ最適當ナル施設方法ニ付其後各會議所ガ實施セル事項及其狀況並効果如何（佐賀）

（十）二商業會議所ノ事務ヲ執行スルニ當リ困難ヲ感タル事項及之ヲ排除スヘキ方法如何（佐賀）

（十一）三商業會議所ト地方商品陳列館及地方商工會其商標分類表ヲ作成セラレントラ特許局ニ望ムコト（佐賀）

（十二）四會計事務ニ關スル規程ヲ一定スルノ要ナシト決議ス（佐賀）

（十三）五實業獎勵金ノ最効ナル使用方法如何（佐賀）

（十四）六報告ニ用フル調査統計表等ノ形式ヲ一定スルコト（佐賀）

（十五）七統計ノ單位ヲ一定スルコト（佐賀）

（十六）八明治四十一年ノ會議ニ於テ協定シタル各所合目的ヲ達スルニ最適當ナル施設方法ニ付其後各會議所ガ實施セル事項及其狀況並効果如何（佐賀）

（十七）九農商務省諮詢所開設ノ件（佐賀）

（十八）一〇同様又ハ新聞紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（十九）一一同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（二十）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（二十一）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（二十二）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（二十三）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（二十四）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（二十五）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（二十六）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（二十七）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（二十八）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（二十九）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（三十）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（三十一）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（三十二）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（三十三）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（三十四）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（三十五）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（三十六）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（三十七）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（三十八）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（三十九）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（四十）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（四十一）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（四十二）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（四十三）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（四十四）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（四十五）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（四十六）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（四十七）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（四十八）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（四十九）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（五十）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（五十一）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（五十二）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（五十三）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（五十四）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（五十五）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（五十六）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（五十七）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（五十八）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（五十九）一二同様又ハ新報紙ノ發行方法ヲ講スル事（佐賀）

（六十

明治四十五年五月十三日

都宮商業會議所月報

○朝鮮に開催したる臨時商業會議所聯合會經過摘要
午後二時
午後十時開議
明治四十五年四月二十五日(第一回)

一本會の發會式を舉行したる後紀念撮影をなす
一開會地京城商業會議所會頭山口太兵衛君本會開會に關する諸般の經過を報告す
一本會の會長に東京商業會議所會頭中野武營君を副會長に大坂商業會議所副會頭法橋善作君を推薦す

各議案に對し提出會議所委員順次議案提出の理由を説明す
一、提出議案は左の如し

第一號 (東京外四朝鮮十會議所提出)

朝鮮米穀及び雜穀移出入税撤廢に關する件

第二號 (神田會議所提出)

朝鮮產米及び雜穀賣買取引の標準を斤量建に改正の件

第三號 (東京外四朝鮮十會議所提出)

朝鮮米穀及び雜穀移出入税撤廢に關する件

第四號 (朝鮮聯合會議所提出)

朝鮮鐵道貨客賃率低減の件

第五號 (商業會議所西部聯合會提出)

關釜連絡船の乘客賃金低減と其筋に要望の件

第六號 (朝鮮聯合會議所提出)

朝鮮に於ける穀物輸出及移出税の撤廢に付請願の件

第七號 (同上)

朝鮮穀物母國移入税撤廢請願の件

第八號 (同上)

朝鮮に於ける穀物輸出及移出税の撤廢に付請願の件

第九號 (同上)

朝鮮穀物母國移入税撤廢請願の件

一李王殿下を始め各方面に謝辭を述べる爲め各部より二名の委員を擧げ且會長副會長は特に李王殿下に敬意を表することに決す

一山口太兵衛君の發議に依り今回を臨時聯合會と改し更に定期聯合會を本年中に開催することに決す

一會長閉會の挨拶を爲し山口太兵衛君來會者に對し謝辭を述べ且會長の勞を謝す

午後三時十五分閉會

◎臨時全國商業會議所聯合會決議

前記聯合會に於て決議せられたるものにして既に政府當局に對し建議書を提出せられたるもの左の如し

△朝鮮勸業博覽會開催に關する建議

今や日鮮の障壁全く撤去せられたるを以て彼我人の交通物産の出入をして愈々頻繁ならしめざるべらず此時に當り朝鮮勸業博覽會を開くか如き最も機宜に適したる處置にして徑捷の策たるを信ず蓋し博覽會は彼我生産品の紹介國富の開發に資し併て和親交渉の實を擧ぐるに於て多大の効果あるべければあり總督府の經營の下に來る明治四十五年秋季若くは四十六年の春季を期し之を京城に開催せられんことを望む

△朝鮮穀物輸出及移出税撤廢に關する建議

輸出及移出を獎勵して産業の發達を圖るは國家經濟の要義あり而して之を獎勵するの方法多々あるべしと雖も關稅を撤廢して其輸出品の負擔を輕減するは即ち輸移出を發達せしむる最良の方に又其産業を獎勵する所以あり近時列國が特殊の商品を除き自國產品に一切の輸出税を賦課せざるは又此理由に外あらず朝鮮に於ける主要產物は

日本と北滿洲を連絡する航路及鐵道の急設請願の件

第十號 (富山會議所提出)

右は議事の整理上第一、第二、第六、第七號議案を一括して(甲)部となし第三、第八、第十、第十一號議案を一括して(乙)部とし第四、第五、第九號議案を一括して(丙)部とすることに決す

一本會の會計委員に長崎、大坂、函館、金澤、岡山、名古屋、京城、の七商業會議所を選定す

一議案の審査を付托する爲め委員を設くることに決し議長指名を以て左の通り選定す

(甲)長崎、大坂、神戶、松江、函館、前橋、新潟、金澤、高岡、岡山、津、京城、仁川、元山、馬山

(乙)鹿兒島、京都、宇都宮、富山、德島、四日市、大垣、博多、尾道、岡崎、函館、前橋、木浦、群山、豊橋

(丙)熊本、和歌山、水戸、長野、福井、長岡、名古屋、下關、東京、伏見、高松、釜谷、大邱、清律、鎮南浦

午前十一時散會(散會後各部委員會開會す)

四月二十七日(第三回)

午前九時半開議

一本會々計委員長岡本忠藏君より會計委員會の決議報告あり本會は之を可決す

一丙部委員長代理濫谷善作君丙部委員會の經過及結果を報告す

一乙部委員長石田喜兵衛君乙部委員會の經過及結果を報告す

一甲部委員長法橋善作君甲部委員會の經過及結果を報告す

一本會各部委員長回の聯合會に於ける内地朝鮮間連絡船の運送に對する問題を關する

一横田孝史君會社令に關し會長より當局者に對し同令の施行に就て充分注意せらることを具陳せられんことの希望を述べ

一垂井清右衛門君回の渡辭に付き各方面の歎待を蒙れるに對し謝意を表せんことを希望す

一乙部委員長代理井上吉兵衛君第八號議案より委員會の經過及結果を報告し本會は右報告を可決し成案を會長に一任することに決す

一丙部委員長代理森谷善作君第九號議案より委員會の經過及結果を報告し本會は右報告を可決し成案を會長に一任することに決す

一丙部委員長代理濫谷善作君第八號議案より委員會の經過及結果を報告し本會は右報告を可決し成案を會長に一任することに決す

一中野會長今回の聯合會に於ける内地朝鮮間連絡船の運送に對する問題を關する

一横田孝史君會社令に關し會長より當局者に對し同令の施行に就て充分注意せらることを具陳せられんことの希望を述べ

一垂井清右衛門君回の渡辭に付き各方面の歎待を蒙れるに對し謝意を表せんことを希望す

一本會決議の實行を期する爲め實行委員を設くることに決し會長指名を以て左の通り選定す

前記實行委員は四月二十九日總督府訪問山縣政務總監に面接せり

本日午前八時丙部委員を開會す

午前十一時散會

四月三十日(第四回)

午後二時半開會

一本會決議の實行を期する爲め實行委員を設くることに決し會長指名を以て左の通り選定す

員の要求に依り来る三十日迄延期することに決す

一一本會決議の實行を期する爲め實行委員を設くることに決し會長指名を以て左の通り選定す

す

一本會決議の實行を期する爲め實行委員を設くることに決し會長指名を以て左の通り選定す

員の要求に依り来る三十日迄延期することに決す

一一本會決議の實行を期する爲め實行委員を設くることに決し會長指名を以て左の通り選定す

宇都宮市統計一斑

八

日十三月五年四十四治明

◎市民職業別

明治四十三年末に於ける當市の人口は四萬九千三百五十五人にして内二千八百十二人は農、千二百一人は工、二萬六千三十八人は商、八千四十一人は職工、一千八百四十人は力役者、一千三百九十六人は官公吏、八千二十八人雜業あり(市役所調)

宇都宮市に於て昨四十三年中屠殺せる獸類は成牛三百七十一頭（此斤量十六萬八千八百九十九斤價格三萬四百二十六圓）犢牛十四頭（此斤量三千九百九十斤價格四百九十九圓）馬百二十八頭（此斤量三萬四千三百三十斤價格二千四七十九圓）豚千六百九十一頭（此量二十一万一千四百八十四斤價格二萬三百三十八圓）あり

◎四十三年中の養魚

本市に於ける昨四十三年中の養魚場は六個所此總坪數六千百九十八坪養魚は鯉にして其數量三千四百十五貫價格四千百二十二圓なり

○牛乳搾取高
本市の昨四十三年中に於ける搾乳場は四ヶ所にして乳牛三十頭搾取高三百六十石價格一萬四千四百

登録
明保野
銘

明保野は學理と實驗とに依て釀造したる酒質醇旨
滋養豊富香味絶佳なる無比の一品にして夙に好酒
諸賢の好評を博し販路日に月に擴張の盛況に在り
は深く愛顧諸君に謹謝する所なり將來益々酒質を
改良に努むへし希くは倍舊の御引立あらんことの
敬白

活版印石寫真

活版印刷社 共三番五十六百三 話書
都宮市警察前角

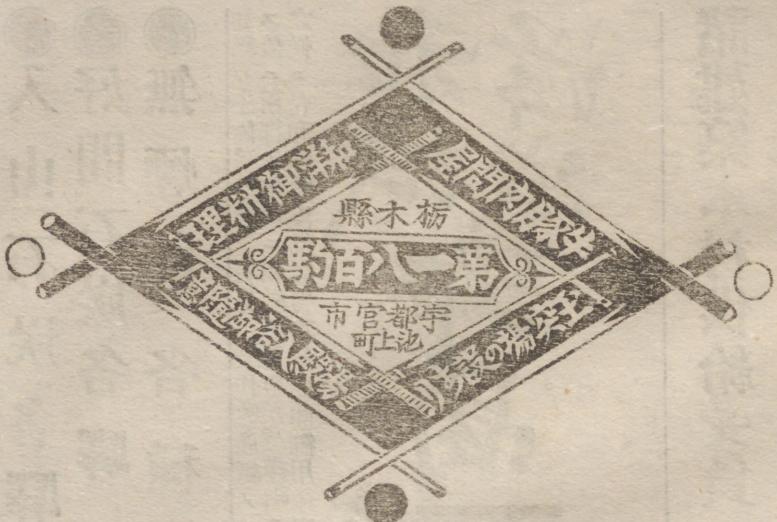
◎四十三年未の會社
宇都宮市に於ける昨年末現在の會社總數は二十八（支店を含まず）あるが内五は合名會社、七は合資會社、十六は株式會社にして資本の總計五百十四萬三千圓内拂込額三百二十一万一千二百七十五圓あり而して前年に比すれば會社數に於て四を減せり

◎憐れむる農業
政府の調査したる所ありといふ列國米田一反歩の平均收入及支出は左表の如くあるが之を見ば如何

政府の調査したる所を以て之を死國光日一反の
平均收入及支出は左表の如くあるが之を見ば如何

活版印刷社共三番五十六百三 話電
角前察警市宮都字
コロタイプ

和洋御料理及天麩羅原 料
は元濱方と特約日々新鮮
のものを選み直輸入風味と
衛生を重んず御手軽と
迅速は最も第一の特色



番七百六 番二百二 話電

牛肉の原料は有名なる神戸米澤豚肉は海外より特種の者を選み品質精良價格低廉衛生經濟富國強兵に缺ざる日常食品の親玉

て芳香佳味且つ
廉價なり江湖の
諸君奮て御試用
あらん事を乞ふ



都宮商業會議所月報

日十三月五年四十四治明 『一〇』

菊の友は原料を
精撰し學理を應
用し最も斬新な
る釀造方法にし

關澤商店陳列館

く花客様にて御
知の筈てあり升
品が善く
て直が安
く有ご有
ゆる品は
取揃てあ
りす

央二荒山神社の坂下ゆへ
は至極御便利であり升
にて市中無類第一の廉
してあり升
に魁くるは申す迄もな
升 御承

宇都宮市明神下
都勸立工場
澤開館
主館略電平澤敬治
(ケヒ)

貨物、保管、荷爲替取組

宇都宮市川向町

庫

下野倉庫株式會社

●大坂硫曹株式會社製品
●關東酸曹株式會社製品
内外肥料特約販賣 ●各種取
見本八

各種用書二

本店
字都

卷之二
登錄

金鑑錄

參
卷之三

卷之三

古商鼎

支店 東京

當定期預金
年步九五

地番五五組中住半北肩

株式寶積寺銀行宇都宮支店

當別定期預金預金金宇都宮市大工町五番
年日歩歩九五分厘錢畠番

諸貸附割引爲替代金取立確實ヲ旨トシ精々御便利ニ取扱申候

會社寶積寺銀行

電話三五番 電略(ホウ)

營業種目

藥品賣藥醫療器械
理化學器
寫真器械附屬一式
コンデンスマルク特約店

海陸產肥料各種
入山石炭各驛一手販賣
好間石炭各驛一手販賣
無煙炭各種大販賣

宇都宮市馬場町
木村作次郎
宇都宮市中鉢石町
木村支店
宇都宮市石町
針屋
村上濱吉
宇都宮市石町
電話三三番

大谷石材販賣
本坂問屋
（電話四〇八番）
仲

宇都宮市川向町停車場前
大谷石商會

光力電燈より光強し
アセチリン瓦斯
石油ニ優
ル事百倍
毫モナシ
其他機具一式
（並）光料力一バイト
御注文ニ應シ取付其他点燈迄一切請負可申候御
一報次第店員出張萬事御協議可申候

肥料
藍
麻苧
眞繩

宇都宮市本郷町廿八番地
商號久喜屋

福田恒吉

宇都宮市日野町
（電話一三八番）
本都賀屋本找店
篠嶋安平

諸建築木材供給受負
諸木材廉價販賣
諸建築工事請負業

業務擴張ノ爲メ從來ノ建具類賣場狹隘ヲ感シ看町通ニ移轉仕候條

陸續御用命奉願候